

KYOTO SAGA
UNIVERSITY OF ARTS
PUBLIC RELATIONS

VOL.05 AUTUMN
2003

京都嵯峨芸術大学広報

Special Feature

地域に根ざし、地域に開かれ、地域と共に生きる大学を目指して

News

平成14年度決算報告／キャリア開発支援プログラム^{ほか}

Topics

在学生の活躍／学生たちの自主活動^{ほか}

Information

入学試験関連情報／^{ほか} 展覧会情報



嵯峨校舎建設現場 20030912



KYOTO SAGA
UNIVERSITY OF ARTS

地域に根ざし、地域に開かれ、地域



昭和30年代以降、日本経済の高度成長時代を背景に、18歳人口の増加や大学進学率の上昇等で大学生の数は増え続けました。各大学は、文部省の指導による臨時定員増で、その問題の解消に当たってきました。と同時に、平成6年に始まる18歳人口の減少を見越して、この臨時定員の恒常化を図り、新学科や新学部の新設等さまざまな構想の実現に努力してきました。「工業(場)等制限区域」の規制がかかる京都市では、学生定員数を増やすのが容易ではなく、京都市外や近接県に新学部の設立を果たす大学も数多くありました。

そのような状況の中で、本学は、京都の地に、嵯峨嵐山の地に、留まることを決意し、平成13年4月、「精神的な豊かさを生み出すもとなる芸術的な感覚、誇りを持てる地域文化の創造ならびに恵み豊かな自然の保全と活用などに関する確かな知識とデザイン能力を有する人材の育成」を教育目標のひとつに掲げて、宿願の四年制大学設立を果たしました。日本を日本らしく保つための伝統的な思考や表現を学ぶには、また学際的で革新的な美意識を確立するには、伝統と革新の町・京都、とりわけ嵯峨野は最適の地と言えるでしょう。

四年制大学設立以来、私たち京都嵯峨芸術大学に勤務する教職員一同は、これまでに蓄積してきた教育方法や知識を通して、大学を地域社会へ開放すること、地域社会の活動への参加等を通して、地域社会との連携意識を深め、大学の新しい役割を模索していくことに努めています。種々の企画を構想し実行するために、三好郁朗学長の強い要請で、平成14年4月には「企画広報室」も新設され、現在、本格的な地域との共生を目指して、活動が始まっています。自然の景観に恵まれたこの地域に文化ゾーン的な要素も加えることができればと思います。

こうして本学が、地域に根ざし、地域に開かれ、地域と共に生きる大学となることで文化センターとしての役割を果たせればと願っています。

今年度実施した、あるいは計画している諸企

画を少し説明を入れながら列挙してみます。

●教育の展開事業

(1) 地域の小・中・高との連携

・嵐山小学校への「扇・面・展」参加要請

4月1日(火)～6月30日(月)にわたって開催された附属博物館の「貿易扇—欧羅巴が求めた日本美—」展に伴って、京都市立嵐山小学校の中高年生およびその父母を対象にワークショップ「扇に絵を描こう」を実施。その時の作品と本学教職員も参加した展覧会を附属ギャラリーで開催。

・松尾小学校の「チャレンジ事業」を本学にて開催

7月29日(火)、京都市が推進している「チャレンジ事業」のひとつとして、京都市立松尾小学校6年生50名が小学校の運動場の土を混ぜて、本学短期大学部陶芸研究室の池田八栄子教授の指導のもとに、陶芸作品づくりにチャレンジ。



(2) 「愛宕古道街道灯し」

本学短期大学部インテリアデザイン研究室の柴田潤助教授の指導で、8月23日(土)・24日(日)に嵯峨野保勝会が主催する「愛宕古道街道灯し」のイベントとして、学生が竹を材料とした巨大な提灯を作成し参加。

(3) 大覚寺での野外彫刻展

大覚寺で開催される華道展および観月祭の時に、芸術学部造形学科彫刻研究室が中心となり、学生に作品を制作させて境内に展示。

と共に生きる大学を目指して

(4)生涯学習講座開設

5月から、日本画(2講座)、洋画、彫刻(2講座)、陶芸(2講座)、コンピュータ基礎(2講座)、芸術文化、フランス文化、小学生夏休み集中講座の計12講座を開設。1クラス20名の少人数制。ほとんどの講座は定員に達した。特に夏休みを利用した小学生美術講座は、当初20名を募集したところ、限界の85名(3クラス開設)に達し、参加できない子供たちも出るほどの盛況。



(5)高大連携への取り組み

今年7月にプロジェクト委員会を設立。現在、可能性を模索中。

(6)ケア・スポット梅津での作品展示

本学短期大学部日本画研究室の北村正己助教授指導のもとに、学生の作品を介護老人保健施設に展示。若い学生のひたむきな作品を施設の各所に展示して毎日を豊かに過ごしてもらう。

●大学施設の開放事業

現在は学内でもやや奥まったところに設置されており、大学外部者には見えにくい附属図書館を、糺原堤に面した土地に建設中の糺原校舎(仮称)の1階に移し、地域の人々にとって利用し易い場所として開放すると同時に、児童図書館の無い地域でその役割を果たすべく、児童閲覧コーナーも設ける予定。

●地域社会との連携事業

(1)「京都嵯峨野文化サロン」の開設

平成14年度から、本学園の母体である旧嵯



峨御所大本山大覚寺と本学との共催で、嵯峨野に因んだ文化イベントを年に1~2回実施することとした。学外の多くの人々と共に、嵯峨野の地で、伝統についてもう一度考え、嵯峨野の新たな魅力を発見し、文化や芸術の創造活動を促進していきたいと願っていることである。第1回企画としては「京都嵯峨野に探る『平家物語』の世界」(講演:宮尾登美子氏、杉本秀太郎氏/横笛演奏:藤倉名生氏、平家琵琶:橋本敏江氏)を実施し、好評であった。今年度は「平安人の心を捉えた『梁塵秘抄』の世界」(講演:朧谷壽氏、舞と歌唱:日本今様調舞楽会)をテーマに10月4日(土)に実施する予定。

(2)大沢池景観修復プロジェクト「草魚バスターズ」

観光デザイン研究センター所長の真板昭夫教授(芸術学部観光デザイン学科)の指導で、嵯峨御流家元でもある大覚寺にとっての重要な場所、大沢池に増えすぎた草魚を捕獲し、池水を浄化して蓮の花を咲かせようという試み。大覚寺、嵯峨御流、地域の人たち、近隣の漁業組合の人々も参加しての大プロジェクトに発展。

以上の試みを今後も順調に続行させ、さらなる発展を目指すためには、地域住民の皆様のご理解はもとより、学内的にも財政的支援をはじめ、全学的な協力体制をこれまでも増して確立していくことが何より肝要であると思います。

(企画広報室)

平成14年度決算報告

資金収支計算書は、平成14年度中に入金された学納金・手数料・寄附金・補助金等の収入はもちろん、前年度繰越支払資金をはじめ、平成15年度新入学生等の学費が年度末までに入金した前受金や平成13年度の退職金財団の未収金・貸付金の回収金等の収入から、平成14年度中に支払った人件費、教研管理経費、借入金利息、借入金返済金、四大改修工事を含めた施設・設備関係支出等の他、本来は平成13年度に支払うべき経費にかかわらず、支払いが平成14年度になった未払金や立替金・仮払金等の支出を差し引いた次年度繰越支払資金を算出するもので、従って平成14年度中に執行した全ての金銭取引を表示し、計算書として表わしたものととなります。

収入面では、平成13年度に比べて学生数が約120名減少していることから学納金が約1億円近い減額となったのをはじめとし、受験生減による手数料減、特別な記念事業等に伴う募集を行わなかったことによる寄附金の減、預貯金金利低下に伴う資産運用収入減、投資信託の売却が平成14年度はなかったこと、新入生減による前受金の減収、新規借入金を行わなかったこと等が、補助金や退職金財団からの交付金の大幅増収を差し引いても尚、学園全体としての収入を約5億1,800万円少なくし、合計45億5,700万円の規模となりました。

支出面では、人件費が、教員新規雇用等に伴う増として約3,000万円、6名の定年退職者に支給した退職金として1億7,300万円（平成13年度より7,000万円増）、合計約1億円増となったこと、NTT跡地購入資金借入分の返済が新たに始まったことで約7,000万円の支出増、大学設置年次計画に基づいた四大改修工事・機器設備購入が減ったこと、土地購入等の不動産購入事業がなかったこと等から、平成13年度より約3億9,200万円の減額規模となりました。

この結果、年間資金流動額は、全体として約5億円減額、合計45億5,700万円となり、事業展開や学園運営上に必要な保有資金を含めた次年度繰越支払資金額は、平成13年度に比して約1億2,600万円減額の約25億7,200万円となりました。平成15年度新入学生の納付金を含めて前受金を除いた実質保有資金は約19億円弱となりますが、今後は出来る限り支出を制限し、保有資金や任意積立による特定資産の増額を図ることが課題ではあるものの、当初予算を踏まえた事業計画を柱として順調に事業が執行できたと考えています。

平成14年度資金収支計算書		(単位=円)	
収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	1,724,720,340	人件費支出	1,234,573,057
手数料収入	48,416,650	教育研究経費支出	314,850,329
寄付金収入	10,210,000	管理経費支出	205,304,895
補助金収入	156,186,921	借入金等利息支出	59,490,096
資産運用収入	1,060,782	借入金等返済支出	173,940,000
事業収入	3,070,150	施設関係支出	7,884,575
雑収入	151,220,812	設備関係支出	83,233,206
借入金等収入		資産運用支出	1,250,500
前受金収入	697,010,000	その他の支出	65,648,002
その他の収入	47,036,000	資金支出調整勘定	△ 39,053,996
資金収入調整勘定	△ 853,750,000	次年度繰越支払資金	2,445,835,495
前年度繰越支払資金	2,572,161,007		
収入の部 合計	4,557,343,652	支出の部 合計	4,557,343,652

土公供式を挙行

5月20日(火)、霖原新校舎(仮称)建築工事の安全を祈願し、土公供(どこう)作法による地鎮祭を執り行いました。

坂口博之理事長導師のもと、学園役職者や三好郁朗学長をはじめ、大学関係者、工事関係者らの参列を得て、厳かに土公供式を営むことができました。

この日は、式が始まる頃から突然激しい俄雨に見舞われましたが、嵐山の山々に響く雷鳴と、読経とともに奏でられる太鼓の音がダイナミックに共鳴しあい、天地が祝福するかのような忘れがたい儀式となりました。

桂川から嵐山を展望できる新校舎の完成により、教育環境が一層充実するものと期待を寄せながら、無事に土公供式を終えることができましたことをご報告いたします。



教育後援会総会を開催

6月29日(日)、本学を会場として教育後援会の総会を開催しました。

大学から、平成14年度決算と監査の報告、平成15年度事業計画と予算案の説明が行われ、この総会において教育後援会の承認を行いました。また、有岡保行学生部部長より学生生活の実態や就職状況についても報告がなされるなど、約1時間にわたって大学を取り囲む社会の状況や大学の今後について、さまざまな情報が交わされました。

なお、総会終了後には、懇親会ならびに大覚寺見学会(希望者のみ)を実施しました。

キャリア開発支援プログラム

2003年4月、芸術学部の一学期生は3年生となり、秋からは2005年3月卒業に向けての本格的な進路活動時期となります。特に2005年4月入社の就職スケジュールに関しては、“選考とは関係なく、業界を知ってもらう”目的のオープンセミナーが10～12月の間に開催され、4～5月には早々と企業からの内定が出るものと予測されます。

短期大学部は、これよりも少し遅いスケジュールになりますが、芸術学部との差はそうありません。企業の『早期・短期決戦』『厳選採用』を勝ち抜くには、より早い時期から準備をすることが重要になっているということです。

就職課ではこの動きに対応するため、芸術学部2年生・短期大学部1年生の各10月から、進路ガイダンスを通じて本格的なサポートをスタートさせ、11月から2月にかけて、実践的な講座や講演会等を開催していきます。

また、スキルアップを目指す学生のために、春・秋に各種資格検定講座（有料）を開講したり、インターンシップの奨励および紹介を積極的に行っています。

学生一人一人が、卒業後のイメージを明確に持ち、自分の学んだことを意思伝達するコミュニケーション能力を高め、進路活動を大きな学習チャンスと捉え、自己実現の戦略と戦術を組み立てられるよう、就職課では収集した様々な情報を常にスムーズに提供するバックアップ体制をとっています。

キャリアプランニング講座(10月以降の予定)		
第9回	教員・学芸員ガイダンス	11月14日(金)
第10回	講演(内容未定)	11月26日(水)
第11回	編入学ガイダンス	11月27日(木)
第12回	講演「新聞を読む」	2月19日(木)
第13回	ビジネスマナー講座	2月19日(木)
第14回	就職内定者報告会	2月20日(金)
進路ガイダンス		
芸術学部 3年生		
第3回	進路ガイダンス	10月3日(金)
第4回	進路ガイダンス	2月17日(火)
芸術学部 2年生		
低回生	進路ガイダンス	11月12日(水)
第1回	進路ガイダンス	2月16日(月)
短期大学部 1年生		
第1回	進路ガイダンス	10月10日(金)
第2回	進路ガイダンス	2月13日(金)
各種模擬試験等(学内実施/有料)		
就職実践模擬試験	11月19日(水)、2月18日(水)	
エントリー攻略テスト	11月19日(水)、2月18日(水)	
日本漢字能力検定試験	11月8日(土)	
各種資格検定講座(学内実施/有料)		
色彩能力検定2・3級 受験対策講座	9月～11月(全12回)	
CAD利用技術者2級 受験対策講座	9月～11月(全10回)	
福祉社環境コーディネーター 2・3級受験対策講座	9月～11月(全13回)	
TOEIC TEST攻略600	2月～3月(全10回)	
MOUS試験(上級) Word対策講座	3月	
MOUS試験(上級) Excel対策講座	3月	

※9月～11月は2003年、2月～3月は2004年

生涯学習講座を開講して

人々の学習への関心が高まり、心の充実や時代の変化に対応した知識と技術を身につけることが求められる中、本学においても、この5月より「生涯学習講座」を開講してきました。

芸術大学としての特色を活かし、芸術・美術講座(日本画・洋画・陶芸など)を中心に、コンピュータやさまざまな文化に関する講座のほか、小学生対象の夏休み集中講座を開設するなどして、この8月に前期全ての講座を終えたばかりです。

ほとんどの講座で募集定員を上回る申し込みを頂戴し、特に小学生夏休み集中講座においては、反響の大きさを受けて、当初の定員20名から大幅な定員増を図り、80名の参加者を受け入れる体制を急遽調整して対応しました。最終日に父母も参加して作品鑑賞会を開くなど子供も大人も楽しめる講座となったことが幸いであります。

なお、前期に講座を修了した受講生からは、次年度以降も講座の継続を要望する声が多数聞かれ、大学としても、引き続き地域の方々の生涯学習を支援するため、さまざまな講座を展開していきたいと考えています。



オープンキャンパス開催



8月1日(金)～3日(日)にかけてオープンキャンパスを開催しました。

実際の実技試験に近い形で行いながら本学教員による直接指導が受けられる無料の実技講習会をはじめ、各分野・コースによる入試相談、体験実習イベントに加え、初の試みとして、造形学科探訪、デザイン探訪、美術・工芸探訪の3つのコースごとに学内の主要施設を在学生が案内するキャンパスツアーを企画し、参加者からの

好評を博しました。

3日間をとおしての参加者は合計793名(高校生594名、保護者199名)にのぼり、実技講習会へは162名の参加がありました。

オープンキャンパスに参加した受験生にとっては、進学を希望する分野・コースの内容を目で見て確認でき、また、入試での実技試験にむけて作品の習熟度を向上させることができる良い機会になったのではないのでしょうか。

大学報告

松尾小学校チャレンジ事業

京都市立松尾小学校からチャレンジ事業の委託を受け、7月29日(火)に本学で6年生52名に陶芸を楽しんでもらうことになりました。

当日は児童が西京区にある小学校から歩いて本学へ到着、9時半開始です。みんなには、思い出の松尾小学校の校庭の砂を持ってきてもらい、それを少しずつ陶芸用の土に混ぜ込み、各自思いつくままに好きなものを作ってもらいました。動物や怪獣(?)、それにお皿やカップを作るのも大好きなようで、自分で使うものやら、お父さんがおつまみをのせるイメージで作る子もいました。時間はあっという間にすぎ、正午に終了しました。講師2名と学生スタッフ5名は汗だくになりました。焼成された作品の窯出しは8月9日(土)でしたが、あいにく台風が近畿を直撃し、窯から熱い作品が出てくる醍醐味を子供たちに味わってもらうことは出来ませんでした。残念です。

いつか、大人になって、校庭の砂が焼き込まれているこの作品を取りだし、この日の事を思い出してくれたらいいなと思います。

記/池田八栄子(陶芸研究室)

大学報告

ラジオ番組を制作

所属学科やコースを越えて全学から企画制作を希望する学生を募り、現在、年末から卒業・進級制作展までの期間中に放送するFMラジオ番組を制作しています。

これは、京都のミニFM局「京都三条ラジオカフェ」との共同企画で、ラジオ番組の制作に関する技術的な指南等は受けていますが、基本的には学生たちの自主企画によって番組がつくりあげられます。「学校の保健室のお話」「アリの足音?」など、何が飛び出すかお楽しみ!

なお、放送聴取可能エリアは京都市中京区・下京区を中心とした京都市街地、周波数は79.7MHzです。

大学報告

京都嵯峨野文化サロン

10月4日(土)に第2回企画「平安人の心を捉えた梁塵秘抄の世界」を大覚寺で開催します。

平安時代末期に流行した「今様」。後白河法皇は謡いすぎて喉を痛めたと伝えられています。その法皇が編んだ「梁塵秘抄(りょうじんひしょう)」の世界を今に再現しようと企画しました。

平安時代の貴族の邸を彷彿させる大覚寺の夜景の中で、歌の好きな日本人の心を慰め解放した、当時の流行歌「今様」の世界を、瀧谷壽氏(同志社女子大学教授)の講演と日本今様謡舞楽会による舞と歌唱でお楽しみいただきます。

大学報告

制作展ポスター原画コンクール

2004年2月4日(水)~8日(日)に京都市美術館ならびに学内で開催する卒業・進級制作展に向けて、制作展実行委員会では制作展広報学生実行委員会を組織し、ポスター原画を公募します。

従来、プロのデザイナーに依頼してきた制作展広報物ですが、今年度から学内に「自分たちの作品展」であることをより認識した上で積極的に制作展のイメージづくりに参加してもらおうとの趣旨で、教職員も含む学内から公募を行うこととなりました。

大学報告

第四回企画展を開催

4月1日(火)から6月30日(月)まで、附属博物館において第四回企画展「貿易扇―欧羅巴が求めた日本美―」を開催しました。これは、本学卒業生で扇面上絵師の菊井伯幸氏(第二期生)が蒐集された扇から、主に「貿易扇」と通称される扇を拝借させていただいたことから実現したもので、おそらく国内で初めての展覧会であろうかと思われます。マスメディアの取材も多く、来館者数は1865名にものぼり、開館はじまって以来の来館者に恵まれました。

受賞など

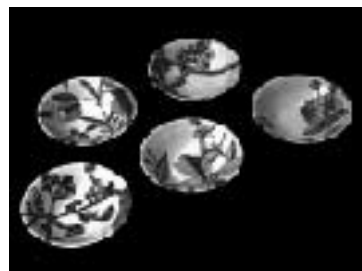
在学生の活躍

朝日陶芸展「秀作賞」を最年少受賞

短期大学部専攻科2回生の高田美沙さん(三次元表現)の作品「花鉢」が、第41回朝日陶芸展において秀作賞を受賞しました。

朝日新聞社主催の朝日陶芸展は、幾多の有名作家を輩出している伝統ある公募展。過去最多となる754点の応募作品のうちから、高田さんは秀作賞を史上最年少で受賞。また、松本淳平さん(同学部専攻科1回生)と田上真也さん(同学部陶芸コース卒業生)が入選を果たしています。

入選・入賞作品は、近隣では滋賀県立陶芸の森・信楽産業展示館(9月13日~10月5日)、堺市立文化会館(2004年2月26日~3月28日)で展示されます。



「花鉢」60×700×600

イラスト作品を提供

短期大学部美術学科2回生の志水恵美さんのイラストレーションが、川床で有名な、京都鞍馬にある料亭「右源太」「左源太」発行の貴船・鞍馬イラストマップに掲載されました。

卒業生の活動情報

三条会商店街のイベントを演出

短期大学部専攻科の修了生から成るグループc.o.が演出を担当したイベント「観月の夕べ」が、9月13日(土)に京都市の三条会商店街で開催されました。

これは京都府の「京の商店街チャレンジ21事業」から助成を受け実施された催しで、当日は800mのアーケードに花灯路(行灯)を並べて灯りのプロムナードとし、雅楽などを聴きながら月を愛するという、幻想的な演出が行われました。

さまざまなイベントに参加

紀伊長島町燈籠祭りに参加

海の上に巨大な燈籠をいくつも浮かべる勇壮な祭りとして知られる三重県紀伊長島町燈籠祭りに併せて、7月25日（金）に「燈籠コンペ」が開催され、本学から参加した「たかぼつ娘」チームの燈籠がみごと準グランプリに選ばれました。

たかぼつ娘チームの6名は、祭りの10日前から現地入りし、高さ2mもの燈籠を制作しました。参加した本学附属芸術文化研究所日本画研究生、中野祐子さん曰く「骨組みに添って布を縫い合わせていく作業が、最も苦労しました。」

審査当日、夜の間に浮かび上がる燈籠の姿は、昼間に見せた姿よりも一段と妖しさを増した美しさを放ち、メンバー達からも思わず歓声があがりました。

愛宕古道街道灯しに大提灯制作

8月23日（土）・24日（日）に行われた「愛宕古道街道灯し」において、短期大学部の柴田潤助教授と有志の学生が制作した大提灯が、町並みを彩りました。

京の晩夏の風物詩である化野念仏寺の千灯供養に併せて、平成8年から行われている「愛宕古道街道灯し」は、愛宕神社一ツ鳥居から祇王寺までの街道筋に約100個の提灯、灯籠を灯す風流なイベントです。

夏季休暇中の約1ヶ月をかけて竹と和紙で制作した最大8メートルもある巨大な提灯が夜の街道を照らす姿は、幻想的でもあり、街道を往く多くの人々を魅了しました。授業で学ぶデザインが、社会で生きたデザインになる良い機会として、学生たちの貴重な体験となったのではないのでしょうか。

大覚寺で野外彫刻展

9月11日（木）～29日（月）、大覚寺にて芸術学部造形学科彫刻分野の在学生19名による展覧会を開催しました。

5年前から大覚寺の境内を借りて彫刻作品やインスタレーションの展示を行っており、一昨年からは大覚寺「観月の夕べ」にあわせて開催してきました。

伝統ある広い空間と環境に大きな創作意欲をもって挑んだ作品群が、訪れた人々の目を楽しませていました。

学生たちの自主活動

学友会執行部体制が決定

2003年度の学友会執行部役員が選挙によって決定しました。

会長	八木智宏	観光デザイン学科	1回生
副会長	柳瀬早苗	観光デザイン学科	1回生
副会長	渡鍋真実	観光デザイン学科	2回生
会計	石田愛	造形学科	2回生
会計	宮下由佳利	美術学科	2回生
書記	杉江康介	観光デザイン学科	1回生
書記	松田莉那	観光デザイン学科	1回生

《八木智宏会長より》

とにかく、いろいろな人に会って話したい。沢山の経験をしたい。そして、京都嵯峨芸術大学のみんなと大学を盛り上げていきたい。これが、僕の率直な願いです。そのための手助けになればと思っています。みんなで嵯峨芸を盛り上げて、より良い大学をつくりあげていきましょう。ご協力お願いします。

七夕祭り、開催さる

学内を明るくしようと、イベントの実施に取り組んで5年。本年も7月4日（金）に七夕祭りが行われました。授業終了後に学友会のメンバーが慌しく準備に取りかかります。

今年のプログラムは昨年の反省点を踏まえ、盛り沢山の内容となりました。オープニングセレモニーに続き、ステージでは、軽音ライブ、すっぴんからべっぴんへと変化を競うビフォーアフターコンテスト《嵯峨コレ2003★夏》、ヒップホップクラブの迫力溢れるダンス、学生ホールではフリーマーケット、玄關ホールではかき氷とスイカの無料配付と、多彩なイベントが繰り広げられました。

当日は、屋から小雨模様で屋外開催が心配されたものの、1年に1度の再会を果たした織姫の嬉し涙も乾いたのか、若者達の未来への夢を馳せた星の祭典は大空へと羽ばたいていきました。



扇・面・展

6月17日（火）～29日（日）に企画展「扇・面・展」を開催しました。

この展覧会は、本学教職員および関係者による扇、扇面作品とともに、4月26日（土）に実施した附属博物館主催のワークショップ「扇に絵を描こう!」において制作された京都市立嵐山小学校の児童・保護者による作品を展示する、地域交流からうまれた「ジョイント・エキジビション」でした。

短い会期にもかかわらず、会場へは小学生やその父兄らに加え、附属博物館で同時開催した「貿易扇」展への来館者を含む、幅広い層の方々に来場いただき結果となりました。

SCAN YOU CAN

芸術学部造形学科メディアアート分野3回生のインタラクティブ研究チームの企画制作により、7月1日（火）、一日だけの展覧会を開きました。

学生たちのプライベートコレクションから、形状や思い出等をファイル化し、小さなデータベースに構築。それらの実物とともに展示を行いました。観客は色や価格等のキーワードからデータベースを検索し、コレクションを鑑賞していきます。これは、物とそれにまつわる小さな物語を発見する行為を作品として提示したものです。

また、事前に鑑賞者に各自の思い出の品を持参するよう告知し、それを本人とともに会場で撮影。あらたなファイリングの展示を行いました。

短期大学部専攻科作品展「京」

短期大学部専攻科で陶芸と染織を専攻する16名と、芸術文化研究所の研究生1名による作品展を、7月16日（水）～22日（火）と8月1日（金）～3日（日）の期間に開催しました。

「京」をテーマに各々が各自の表現に取り組み、土や糸・布という素材の中で制作した鉢や蓋物、床から壁につながる陶芸作品や、染織のパネルやタペストリー、遊び心のある屏風やオブジェなどの作品が展覧されました。

会期後半は、学内でオープンキャンパスも開催しており、会場は高校生や父兄らで賑わいをみせていました。

入学試験関連情報

10月から、いよいよ入試シーズンに入ります。また、下記の通り、相談会や作品講評会を実施します。

◎学びフォーラム

10/13(月・祝) 国立京都国際会館

◎作品講評会・相談会

10/18(土) 本学

↑無料の実技講習を実施します。

10/25(土) 本学

[入試課] TEL075 864 7878(直)

nyush@kyoto-saga.ac.jp

2004年度入学試験日程(年内実施分)				
試験種別	出願期間	試験日	試験会場	合格発表
京都嵯峨芸術大学				
推薦	10/16(木)～10/31(金) 持参日11/4(火)	11/9(日)	本学・岡山	11/14(金)
京都嵯峨芸術大学 3年次編入学				
前期	10/30(木)～11/11(火)	11/16(日)	本学	11/21(金)
外国人留学生	10/30(木)～11/11(火)	11/16(日)	本学	11/21(金)
京都嵯峨芸術大学短期大学部				
自己推薦	10/14(火)～10/27(月) 持参日10/28(火)	11/2(日)	本学	11/7(金)
推薦(前期)	10/14(火)～10/27(月) 持参日10/28(火)	11/3(月・祝)	本学・岡山	11/7(金)
海外帰国生・社会人(前期)	10/14(火)～10/27(月) 持参日10/28(火)	11/2(日)	本学	11/7(金)
外国人留学生	10/14(火)～10/27(月) 持参日10/28(火)	11/2(日)	本学	11/7(金)
京都嵯峨芸術大学短期大学部 専攻科				
前期	10/1(水)～10/14(火)	10/19(日)	本学	10/24(金)
外国人留学生	10/1(水)～10/14(火)	10/19(日)	本学	10/24(金)

附属博物館 企画展

第5回企画展『花留-いけばなの粋』

附属博物館では、花材を花器に留めるための用具「花留(はなどめ)」の変遷をたどり、その造形美に注目した展覧会を開催します。また、期間中は企画展に伴った講演会およびワークショップも開催を予定しています。

会期…10/28(火)～1/24(土)

開館…10:00～18:00(最終日17:00まで)

休館…毎月曜日(祝日の場合、翌火曜)

入試日(11/2～3, 12/9, 12/14)

年末年始(12/25～1/5)

お問合せ…TEL075 864 7852(直)

museum@kyoto-saga.ac.jp

講演会「いけばなの粋」

日時…11/15(土) 14:00～

会場…第6演習室

講師…庄司信州氏(嵯峨御流華道総司所教授、京都嵯峨芸術大学非常勤講師)
なお、ワークショップの詳細は未定です。

アートスペース嵯峨

10月～12月の展覧会スケジュール

附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」では、下記の展覧会を予定しています。詳細については、附属施設課(TEL075-864 7860)までお問合せください。

◎9/30(火)～10/5(日)

「メディアアート作品展」

◎10/14(火)～10/19(日)

「JAGDAポスター展」

◎10/21(火)～11/1(土)

「泉地保雄退職記念展」

※10/27(月) 休館

◎11/22(土)～11/23(日)

「学園祭展示」

◎12/2(火)～12/17(水)

「マイカメラ・マイスタイル・マイフォト」

※12/8(月)・14(日)・15(月) 休館

なお、大学行事などにより、会期や休館日が変更になる場合があります。ご了承ください。

観光デザイン研究センター

第8回草魚バスターズのお知らせ

10月18日(土)～19日(日)に大覚寺において、観光デザイン研究センターの受託事業である、大沢池景観修復プロジェクト「草魚バスターズ」を実施します。大沢池周辺の土壌改良と植栽、竹垣づくりなどの作業に加えて、嵯峨御流の先生方から「景色池の手法と環境への考え方」について御教授いただく予定です。

学園祭

嵐芸祭(らんげいさい)のお知らせ

来る11月22日(土)～23日(日)に嵐芸祭を開催します。今年は、鳥肌実氏による講演やライブ(ゲスト未定)、恒例の学内公募展「嵐展」をはじめとして、各クラブ・サークルのイベント、模擬店などを企画しています。

教員の活動情報(展覧会、講演)

展覧会

7/9～10/7 京都・洋画の現在
9/20～10/19 華麗なるレビューの世界
10/11～10/19 竹のデザイン・フィンランド+日本
10/11～10/26 京都野外彫刻展
10/16～10/31 第57回二紀展
10/21～11/2 泉地保雄退職記念展
10/28～11/2 七人の絵画展
10/28～11/9 短期大学部洋画研究室展2003
10/31～11/15 泉地保雄展
11/19～11/26 第57回二紀京都展
11/29～12/10 二科京都展
同上 同上
12/2～12/7 第57回二紀大阪展

講演、その他

10/11・11/8 講演「クリシユナムルティに学ぶ」
10/27 講演
11/29～11/30 日本観光研究学会2003島根大会
12/2 講演「観光特区について」

※期間、展覧会名、会場、出展者(所属)の順に記載(敬称略)。 ※非常勤教職員、その他の情報はWEBサイトをご覧ください。

京都文化博物館(京都)
大阪市立住まいのミュージアム
萩ケルネットワーク(萩)ギャラリースペース(山口)
京都府立植物園(京都)
東京都美術館(東京)
アートスペース嵯峨(本学)
京都府立文化芸術会館(京都)
アートスペース東山(京都)
プチフォルム画廊(大阪)
京都市美術館(京都)
京都市美術館(京都)
同上
大阪市美術館(大阪)

ギャラリー白川(京都)
滋賀県商工労働会館(京都)
島根県立大学(島根)
大学コンソーシアム京都(京都)

入佐美南子(油画)
西村美香(グラフィックデザイン)
金氏脩介(観光デザイン)
平松園和(彫刻)
泉地保雄(洋画)
泉地保雄(洋画)
入佐美南子(油画)
黒川彰夫、他(洋画)
泉地保雄(洋画)
泉地保雄(洋画)
泉地保雄、黒川彰夫、他(洋画)
入佐美南子、他(油画)
泉地保雄(洋画)

森本武(観光デザイン)
桑田政美(観光デザイン)
桑田政美(観光デザイン)
坂上英彦(観光デザイン)

京都嵯峨芸術大学広報

第5号

2003年10月3日発行

編集●京都嵯峨芸術大学 企画広報室

発行●学校法人大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学

〒616 8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地

TEL075 864 7859

FAX075 882 7770

http://www.kyoto-saga.ac.jp

info@kyoto-saga.ac.jp

印刷●株式会社 石田大成社